

大野城コレクション使用者募集!



あなたが制作した絵画、彫刻、造形、書、工芸、写真やあなたの収集品などを展示してみませんか。

- **展示場所** 心のふるさと館M2階 大野城コレクション (展示ケース)
- **使用料** 1日当たり980円
※営利目的の場合は、2.5倍になります。
- **展示可能日数** 最長15日間
- **申込方法** 総合案内 (申請書を提出)
※申請書提出の前に、問い合わせてください。詳しくはホームページを確認してください。

心のふるさと館ミュージアム担当

☎(558)5000 ㊟(558)2207
✉cocofuru@city.onojo.fukuoka.jp

ここふるショップ 夏季限定メニュー かき氷



- **販売期間** 7月15日(火)~8月31日(日)
- **場所** 心のふるさと館1階 ここふるショップ
- **販売価格** いちご 税込み440円
きなこカフェオレ 税込み440円

ここふるショップ実行委員会事務局 (心のふるさと館内)

☎(558)5000

✉cfshop@city.onojo.fukuoka.jp

- **営業時間** 午前10時~午後6時
(ラストオーダー 午後5時半)
- **店休日** 月曜日 (祝日の場合は翌平日)



あけてみよう!

歴史のとびら

189

大野城心のふるさと館のおすすめ⑱

へいしへの要塞を歩く

7世紀の後半、東アジアは動乱のさなかにあり、倭国(当時の日本)もまた時代の波に翻弄されていました。663年、友好関係にあった百済の危機に救援を送った倭国は、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗北を喫します。連合軍の追撃を恐れた倭国は、博多湾沿岸にあった筑紫大宰を大宰府に移転し、翌年には長さ1・2kmの長大な土塁と幅60mにもなる濠を備えた水城を築いて敵の侵入を防ぐとともに、大野城、基肄城をはじめとした要塞を築いて周囲の守りとしました。

それから1360年以上の時間が流れた現在、水城跡は自然豊かな緑地としてその姿を伝えています。

西鉄下大井駅から高架下の歩行者道路を南に進んだ先には、4月に水城外濠広場がオープンしました。広場は砂地の外濠部分と芝生を張って復元した土塁部分に分かれており、築造当時の水城のスケールを間近に感じられる場所です。そして外濠広場から土塁沿いの遊歩道を歩いていくと、JR鹿児島本線を挟んで土塁

が途切れた箇所があります。ここは大正2(1913)年に線路の拡張工事によって土塁断面が露出した際、黒板勝美、中山平次郎の両氏によって初めて土塁の観察調査が行われた場所で、平成25(2013)年の再調査を経て土塁断面を復元した広場が整備されました。現地では土を突き固めて積み上げた版築の様子や、その下の軟弱な地盤を補強する敷粗朶といった土塁の構造を観察することができます。

その先、JR水城駅から西側は線路を迂回をしなければなりません。水城築造に関する伝説が残る父子嶋や当時の外交使節が通った西門跡など、まだまだ多くの見所があります。水城跡で自然を感じながら、歴史散策をしてみませんか。



新しくオープンした水城外濠広場

● 問い合わせ先

心のふるさと館文化財担当

☎(558)2209